

## Global studies第7号： 表紙,執筆要綱,執筆者一覧,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1984">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1984</a>

# GLOBAL STUDIES

グローバルスタディーズ

7

2023

## 研究論文

- 1 人民元の国際化と国際通貨システム —— 渡邊 賢一郎
- 17 非単語復唱と第二言語能力の関連  
— 外国語環境で学習するモンゴル語話者を対象として — —— 向山 陽子
- 33 非価格コストの要素が顧客の知覚価値に及ぼす影響 —— 張 巧韻
- 51 マイクロソフトのアジュールとコンセンシスの  
Quorum ブロックチェーンサービス：企業の SDGs 実践におけるブロックチェーン活用 —— Deanna Bradford
- 65 小説『フランケンシュタイン』における哲学的企てとは  
— スタール夫人の「ドイツの新しい哲学」からのヒント — —— 佐々木 真理

## 実践報告

- 79 電気自動車時代におけるマーケティング戦略方向性のケーススタディ：  
Hyundai 自動車の日本市場再参入事例を中心に —— Woo Li Ko

## 調査報告

- 97 評価項目の記述が他者評価活動に与える影響—評価表とアドバイスコメントの関連性— —— 藤浦 五月・宇野 聖子
- 121 中国人日本語学習者のアニメ視聴時の学習ストラテジー  
— 日本語専攻学習者と非専攻学習者の差異に注目して — —— 林 天仁

## 研究ノート

- 139 職業訓練活動での雑談における支援者の立場の提示 —— 岩田 夏穂
- 149 日本におけるグローバル人材育成の課題と展望  
— グローバル人材に求める資質と留学生交流の現状を中心に — —— 張 銀暁

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World

武蔵野大学 グローバルスタディーズ研究所紀要  
Global Studies 執筆要領

2023年1月版

## 1. 投稿資格

グローバルスタディーズ研究所の研究員および客員研究員、大学院言語文化研究科、グローバル学部の科目担当教員（非常勤講師を含む）、大学院言語文化研究科の大学院生および修了生とする。また、以下のいずれかに該当する者は、グローバルスタディーズ紀要編集委員会で認められた場合に限り投稿することができる。

- (1) 本研究センター専任教員と共同研究に従事する者
- (2) 紀要編集委員会が特別に依頼した者

原稿は未発表のもので、1人1編とする。共同研究の場合は1人2編までとするが、筆頭者としては1編しか投稿できない。

## 2. 使用言語

日本語、英語、中国語のいずれかとする。

## 3. カテゴリー（各カテゴリーの内容については「投稿に関する留意点」を参照のこと）

- ・研究論文 Research Article
- ・展望論文 Review Article
- ・実践報告 Practice Report
- ・調査報告 Survey Report
- ・研究ノート Research Note

## 4. 原稿作成上の注意

### (1) 原稿の様式と分量

- ・編集委員会指定の Word のテンプレートを使用する（行間やフォントなどを自分で変えない）。  
本文は、MS 明朝/Times New Romans, 10.5pt  
各章の見出しは、MS ゴシック 12pt（章の見出しのみ行間を段落 1.5 行とする）  
節・項の見出しは MS ゴシック 11pt
- ・分量は、日本語・中国語原稿の場合は、20000 字以内、英語原稿の場合は、8000 語以内とする（注、参考文献、図表を含む）。
- ・B5 判で製本されることを考慮し、図表等の縮小率に注意すること。原稿とは別に、解像度の大きなものを別途提出すること。

### (2) 表記法（日本語）

- ①日本語は常用漢字、現代仮名遣いを原則とする。
- ②数字は原則として半角アラビア数字とする。ただし、「一切」「四半世紀」などの熟語、成句、固有名詞に限って漢数字を使用する。
- ③句読点は「、」「。」を使用する。

④句読点、「」、( ) は全角で使用する。

(3) 論文タイトル

日本語原稿には日本語のメインタイトル (MS 明朝 18pt、サブタイトルは 14pt) の下に英語タイトル (Times New Romans ・ 14pt) を入れる。英語原稿・中国語原稿にはそれぞれの言語のメインタイトル (Times New Romans ・ 18pt、サブタイトルは 14pt) の下に日本語タイトル (MS 明朝 14pt) を入れる。

(4) 氏名 (MS 明朝 Times New Romans 12pt)

漢字の氏名は文字と文字の間に半角スペースを入れる

(5) キーワード (MS 明朝 Times New Roman ・ 10.5pt)

キーワードは 5 語以内とし、論文タイトル、氏名の下に記載する。

(6) 文中の引用

- ・単著文献を引用する際には、加藤 (2007) あるいは、加藤 (2007, 2009) のようにする。筆者名と出版年をかっこに入れるときは、(加藤, 2009) とする。
- ・複数の文献を引用する際には、(加藤, 2007; 宇佐美他, 2019; Erlam, 2005) のように名前の後に半角コロン+半角スペース、半角セミコロン+半角スペースとする。
- ・引用元のページは、加藤 (2007: 19) のように、半角コロン+半角スペース、掲載ページを入れる。
- ・同一筆者による同じ年に出版された文献は、「加藤 (2009a)」「加藤 (2009b)」のように、年のあとに a, b...を入れて区別する。

(7) 謝辞・注 (MS 明朝 Times New Roman ・ 9.5pt)

注は本文中に上付添字で 1) 2) 3) ... と通し番号で示し、原稿末尾の参考文献の前にまとめる。ワードの脚注機能は使用しない。

(8) 参考文献 (MS 明朝 Times New Roman ・ 9.5pt)

参考文献は謝辞・注の下にまとめる。以下の書式で統一する。

- ・和文書籍  
加藤周一 (2007) 『日本文化における時間と空間』岩波書店  
レイヴ, ジーン・ウェンガー, エティエンヌ (1991), 佐伯胖 (訳) (1993) 『状況に埋め込まれた学習-正統的周辺参加』産業図書
- ・和文論文  
石井敏 (2001) 「現代社会と異文化コミュニケーション」石井敏・久米昭元・遠山淳『異文化コミュニケーションの理論 新しいパラダイムを求めて』有斐閣ブックス, 1-7.  
宇佐美洋・森篤嗣・広瀬和佳子・吉田さち (2009) 「書き手の語彙選択が読み手の理解に与える影響—文脈の中での意味推測を妨げる要因とは—」『日本語教育』140, 48-58.

・英文書籍

Ellis, R. (2003) *Task-based Language Learning and Teaching*. Oxford: Oxford University Press.

・英文論文

Langacker, R. W. (2006) On the continuous debate about discreteness. *Cognitive Linguistics*, 17, 107-151.

MacWhinney, B. (1989) Competition and connectionism. In B. MacWhinney & E. Bates (Eds.),  
*The crosslinguistic study of sentence processing* (pp. 422-457). Cambridge University Press.

・ウェブの資料

文部科学省 (2019) 大学等におけるインターンシップの実施状況について.

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/internship/1387151.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1387151.htm) (2020年1月1日)

(9) 所属 (MS 明朝 Times New Roman ・ 10.5pt) 右寄せ

学部・学科・職位等を原稿末尾に記載する。共著の場合は、それぞれ氏名と所属を書く。

## 5. 抜刷り

抜刷りは一論文に対して 30 部とする。不要の場合は、エントリーの際に希望しない旨記載する。

## 6. 原稿提出期日他スケジュール

エントリー年 1 回、委員会の定める期日までに提出する。スケジュールは例年、以下の通りである。

- ・ 7 月末日 投稿エントリー締切
- ・ 9 月末日 原稿締切
- ・ 1 月初め 入稿
- ・ 2 月半ば 校了

## 7. 原稿提出方法および提出先

原稿は、武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所紀要編集委員会 ([gs\\_edit@musashino-u.ac.jp](mailto:gs_edit@musashino-u.ac.jp)) 宛に、電子データをメールにて提出する。

## 8. 提出原稿の校正

著者校正は 2 回までとする。校正段階での原稿の大幅な訂正、加筆、削除は控える。

以上

## 執筆者一覧 (掲載順)

### 【研究論文】

渡 邊 賢一郎	Kenichiro Watanabe	グローバル学部グローバルビジネス学科 教授
向 山 陽 子	Yoko Mukoyama	言語文化研究科 教授
張 巧 韵	Connie Chang	グローバル学部グローバルビジネス学科 准教授
ブラッドフォード デイアナ	Deanna Bradford	グローバル学部グローバルビジネス学科 専任講師
佐々木 眞 理	Mari Sasaki	グローバル学部グローバルコミュニケーション学科 非常勤講師

### 【実践報告】

コ ウ リ	Woo Li Ko	グローバル学部グローバルビジネス学科 専任講師
-------	-----------	-------------------------

### 【調査報告】

藤 浦 五 月	Satsuki Fujiura	グローバル学部日本語コミュニケーション学科 准教授
宇 野 聖 子	Seiko Uno	京都大学 国際高等教育院 非常勤講師
林 天 仁	Lin Tianren	言語文化研究科言語文化専攻修士課程

### 【研究ノート】

岩 田 夏 穂	Natsuho Iwata	グローバル学部日本語コミュニケーション学科 教授
張 銀 暁	Zhang Yinxiao	言語文化研究科言語文化専攻博士後期課程

---

## Global Studies 第7号

2023年3月1日発行

編 集 武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所紀要編集委員会

発 行 武蔵野大学グローバルスタディーズ研究所  
〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3  
電話 03-5530-7312

印 刷 株式会社ワコー  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-7  
電話 03-3230-2511

---

# GLOBAL STUDIES

グローバルスタディーズ

7

2023

## RESEARCH ARTICLES

- 1 Internationalization of the Renminbi and International Currency System—— Kenichiro Watanabe
- 17 The Relationship Between Non-word Repetition and Second Language Proficiency Focused on Mongolian Learners of Japanese —— Yoko Mukoyama
- 33 The Effect of Non-Monetary Elements of Price on Customer-Perceived Value ——Connie Chang
- 51 Microsoft Azure and ConsenSys Quorum Blockchain Service: Using blockchain to enable companies to apply the SDGs —— Deanna Bradford
- 65 What Are the Philosophical Considerations in Mary Shelley's Novel *Frankenstein*? Hints from "The New German Philosophy" in Mme de Staël's *De L'Allemagne* —— Mari Sasaki

## PRACTICE REPORT

- 79 Case Study on Marketing Strategy Direction in the Electric Vehicle Era: Focusing on the Case of Hyundai Motors Case of Re-entry into the Japanese Market —— Woo Li Ko

## SURVEY REPORTS

- 97 The Influence of Evaluation Criteria Descriptions on Peer Evaluation Activity: The Relevance of Between Evaluation Forms to Advice Given —— Satsuki Fujiura • Seiko Uno
- 121 Japanese Learning Strategies Used by Chinese Learners when Watching Anime: Focusing on the Differences Between Japanese Major and Non-Major Students —— Lin Tianren

## RESEARCH NOTES

- 139 How do Supporters demonstrate their Identities During Small talk in Job Training Activities? —— Natsuho Iwata
- 149 Issues and Outlook of Global Talent Training in Japan —Focusing on the Quality Requirement of Global Talent and the Current Situation of International Student Communication—— Zhang Yinxiao

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University's Institute for Global Studies